

みらいん

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。

みやぎの

第 15 号



◀“片腕”とも言える業務用トラックと。蒲生の実家（兼事業所）跡地で震災からの日々を振り返る、喜満さん

今月の
ひと

地域性を大事にしながら、できることに努める 蒲生町内会第4班・班長

今年はまだ少し頑張っって前に進めるようにしたい

蒲生の実家敷地で「小野土建」として事業を営んでいた地区班長の小野喜満さん。あの日は、実家に隣接する小野静夫さん宅の改築工事の作業中で、津波警報が1回だけ鳴った後の「気持ち悪いぐらい静かだった町内」を、トラックで甥や近所の若者と3人で一緒にまわり、避難所を歩き来して30余名を避難させました。班長の立場というよりは、近所の人たちが心配でとっさに避難誘導したのです。

今回の避難経験を通じて、蓄電対応できる防災無線の設置や正確で迅速な情報伝達の必要性など、多くの教訓を得ました。

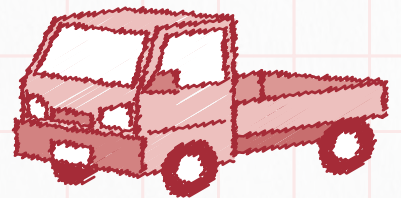
また、車での避難で発生する大渋滞による被害増を防ぎ、高齢者が多い地域でも安全に迅速に避難できる方法として、地域ごとに高い建物の避難施設が必要と強く感じています。

震災から間もなく、多くの避難所をまわって町内会の名簿作成に尽力したり、慰霊塔建立の基礎づくりを手伝うなど、その時々自分の立場でできることに徹する喜満さん。

事業所は蒲生でしたが住居が別であったため、個人としての支援は受けられていません。

再建の場所としては、実家の母と共に田子西隣接地区の宅地での生活を希望しています。

「夢を語るまでの余裕はまだないけれど、家は建てたいよね」と、遠慮がちに語りました。

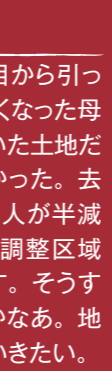


2013

2月

新浜・堀切のいま

この冬、新浜地区には仮設の集会所が建ち、その落成式では住民が集まって賑やかな時を過ごしました。また、堀切地区では再建中の家屋や造成地が目立つようになっています。新たなまちづくり、復興の道を歩み始めている岡田の両地区で、取材中に会った方々から、ご自身の現状やメッセージをつかいました。



中村 靖史さん

震災の1年前に六丁の目から引越してきました。震災で亡くなった母親がここに住もうと言っていた土地だから、移転するのは悔しかった。去年7月から戻っています。人が半減してしまったから、市街化調整区域の緩和をお願いしたいです。そうすれば活気ある町内になるかな。地域のイベントには関わっていきたい。



瀬戸 勲さん

近所の8~10軒の契約兄弟と毎年11月23日に契約講を行っている。葬式の手伝いやお金の貸し借りなど、助け合いながら続けている。当番は毎年持ち回りで、去年はうちが当番だったから再建した自宅に契約兄弟を招いて実施した。仙台でも各個人宅で講を続けているのはここだけじゃないかな。



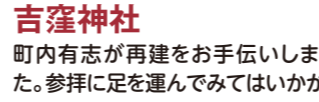
平山 次雄さん、まさ子さん

今年のお盆前には自宅に戻る予定。今後の復興の経過を見たいね。新浜というのは、取っ組み合いのケンカをした相手とも酒一杯飲めば仲直りできる土地柄。小さい時からそう教わってきた。新浜の歴史を語り継ぐ人も少なくなったから、そういった役目を果たしていきたいね。



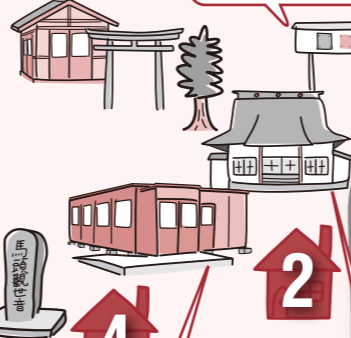
平山 軍治さん

12月に仮設住宅から戻った。建て直すのはあまりに費用が掛かるから、リフォームを選んだ。せっかく残った土地だから、ここでその日の生活ができればいい。人に頼ってはいられない。ここに暮らして初めて復興だ。



吉窪神社
町内有志が再建をお手伝いしました。参拝に足を運んでみてはいかが？

掲示板
お知らせなどを掲示しているので、情報収集に役立ててください



新浜仮設集会所
利用については町内会長まで確認願います

照徳寺の濡れ地蔵
京都の仏師さんにより修復中の濡れ地蔵様。錫杖(しゃくじょう)をもつ右手と宝珠(ほうじゆ)をもつ左手、そして台座が整えられるまでになりました。これから磨かれて、漆塗りを繰り返す作業が続きます



遠藤 夕子さん、
花乃ちゃん、奨太くん、
混太くん、愛犬なな

安心して暮らせるように、堤防をとにかく早くつくって欲しい。家族はそれぞれ被災して、ちょっと前まで精神的に不安定だったけど、ようやく皆落ち着いてきて今は元気です。それが何より一番大事。地域の人たちには戻って来て欲しい反面、強くは言えないものもある。夜に波の音が聞こえるようになったので、防音、遮蔽の為に生垣を早くつくりたいです。



瀬戸 裕保さん

元旦は新浜の海岸で初日の出を拝むことが多いんです。かつて少年野球チーム関係者の行事だったのを個人的に続けているんだね。来年にはまた再開するよ。若い頃は青年教室や地域のいろんなサークル活動に明け暮れたね。新浜の人の「要らぬさつべ(おせっかい)する」という、周りに関心を持つ精神は引き継いでいかなきゃね。



津波に耐えた馬頭観音

軍治さん宅の馬頭観音



齊木 努さん、
星喜斗くん、瑠香ちゃん

田舎の方が子どもがのびのびと育つかなあと思い、鶴ヶ谷から移ってきて約5年。地域の皆さんと協力して復興に向けて一緒に頑張りたい。もう少し若い世代が増えればいいですね。これから親を養っていかないとなあ。



菅井 昭一さん、心くん

2世帯6人家族です。全部流されたけれど生まれた所だし、孫の学校も近いので、元の場所に自宅を再建しました。田んぼは去年除塩作業を終え、春から作付けだから忙しくなるね。堀切生産組合長としては、後継者問題も気になるところ。居久根は無くなったけど、芝生と花を植えて庭の緑を増やしていくつもり。

堀切集会所
集会所の敷地では、今年4月から使用される防災スピーカーの工事が着々と進んでいます

佐藤勝慶さん宅のお稲荷さん
自宅1階は津波で浸水しましたが、毎朝欠かさず炊き立てのご飯をお供えているお稲荷さんは無事でした。「守られている気がするね」と勝慶さん



鈴木 省三郎さん

宮千代の借り上げ民間賃貸住宅に義母、妻、長男の4人で生活しています。今年8月には自宅に戻る予定です。町内会が包括支援センターの協力で昨年2月から始めた「お茶っこサロン」は、お年寄りたちがとても喜んでいてうれしいね。

寒風が吹く中、都市部では減ってきている雀が群れを成して飛び交っている姿に元気を貰いました。歩いてみると、建築途中の住宅や盛り土をしつつ見受けられました。かさ上げ道路の整備が進むにつれ、復興の速度も上がっています。

2013年元旦。中野・蒲生地区に再建された高砂神社へ初詣に訪れた皆さんから、今年の抱負や願い、地域の皆さんへのメッセージなどを寄せていただきました。



●毎年大晦日からこちらへ掃除に来て、初詣や歳旦祭の手伝いをしています。今日は珍しく風がなくて暖かい。人も多く集まって良かったね。あとは、ここに社務所があればいいね。4月15日の例大祭を行いたいがどうしようか考えているところ。新年の抱負は浮かばなくなったなあ。移転先が決まれば今より気が楽になるかな。
小野 実さん

●ここに来ると誰かに会えるから、普段からちょくちょく来て掃除してます。うちの親父も総代をやっていたし、地元の氏子として高砂神社を守らないとね。皆で守っていく意識を持るといいね。
小野正寿さん

●鳥居は、和田屋敷の杉の木を一部使って再建したんだ。蒲生は何も無くなったから、心のよりどころとしてここを残していきたいね。借り上げ民間賃貸住宅に在るから、普段家にもあまり会話をしない。ここに来ると誰かに会えるからうれしいね。神様へのお願いはしきれないほどあるから、していない(笑)
鈴木 功さん

●去年は愛媛の宇和島に招待されて、震災の体験話をしてきたのね。前向きでいれば良いことがあると思って過ごすしかないよね。今でも蒲生に来るのは辛いんだけど、1年の始まりに来なきゃと思ってね。健康が何よりの幸せです。
小野とみ子さん・大学ちえ子さん

●鶴巻の借り上げ民間賃貸住宅に住んでいます。夫は神社の鳥居やお地蔵さんを皆さんと一緒に再建しました。今日は、まずは健康を祈りました。それと皆バラバラになったから、また笑顔で会えるように、集まる機会を計画できるといいですね。皆にとっていい年でありますように。
鈴木洋子さん

●蒲生から水戸へ嫁いで27年になります。毎年、帰省した時は必ず神社をお参りします。母がお世話になっている仙台港背後地6号公園仮設住宅の女性の方々が手づくりしている品のひとつ、お地蔵さんのマスコットは、私も水戸でつくって送り届けています。それぐらいしかお役に立てることはありませんが。今日は、無事に1年過ごせるようお願いしました。
田山千賀子さん

と次男の要司さんを亡くした喪失感が深すぎて、他に言葉が無かったと言います。「2人とも石巻専修大学生で20歳と19歳。まさか亡くなる日まで同じになるとは思いもしなかった」と、美江子さんは静かに語りました。

息子たちの夢を自分たちの夢として生き直す

避難所を出てから宮千代の借り上げ民間賃貸住宅で暮らしていた夫妻は、昨年10月、多賀城市新田へ単独移転しました。「私らは、息子たちが納得するようなことをしたいという想いであの日から走ってきたし、これからもその想いで走っていく。ここを永住の地と定めたのも菩提寺の西光寺が近いから」と由夫さん。復興や頑張りばかりが取りざたされる世間との隔たりを感じていた美江子さんでしたが、子どもを亡くした遺族が語り合える場「つむぎの会」に毎月参加するようになってから、自分が居られる場所ができたと感じています。由夫さんは昨年9月に手記「忘れはしない」を自費出版。「一人ひとりの悲しみが違うから、自分で乗り越えていくしかない」と実感している夫妻ですが、2人の気持ちがここまでくるには1年9か月かかったと言います。心のうちを吐露できる方法や場をそれぞれ見つけながら、息子たちと共に生き直しています。

今回は岡田地区出身の方にご登場いただく予定です

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいの方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

南蒲生町内会

南蒲生地区にお住まいの方を対象とした説明会の内容をお届けします

12月25日(火)津波避難施設の整備に関する説明会

報告事項

〈消防局から〉

- かさ上げ道路について
 - ・若林区内では県道塩釜亘理線に並行させ、既存の県道は側道として残す予定。宮城野区内では県道から離れて北上させる
 - ・地盤から概ね6mの高さで、東西を結ぶ主要道を平面交差で接続させる
 - ・現在は測量作業中。2013年度から用地を取得し、着工から5年を目途に完成を目指す
- 海岸堤防(国事業)について
 - ・2015年までに高さ7mで北側から整備
- 津波避難施設の配置について
 - ・既存の市施設、市有地等を優先的に活用、整備
- 主要避難道路(南蒲生浄化センター1号線)について
 - ・路側帯に停車車両等があっても円滑な避難が出来る道路幅員を確保していく
 - ・交差点構造は円滑な合流が可能なよう整備
 - ・地震に強い道路構造にしていく



◀昨年12月には町内会として、南蒲生復興まちづくり基本計画を策定し、要望書とともに行政に提出。避難施設をはじめ、安全・安心な暮らしが出来る環境づくり実現を強く訴えました

を検討中。出来る範囲内で工夫をしていく

- Q.町内から産業道路に向かって3本の枝線(市道、農道)があるが、避難道路として拡幅整備願いたい
- A.主要避難道路以外の枝線については、ほ場整備と併せて整備を考えていく
- Q.七北田川の川底が津波の堆積物により上昇しているので、底のヘド口を掻き出して欲しい
- A.川底の土砂を取り去る浚渫工事を県で検討している

質疑応答

- Q.昨年12月の地震後、周辺道路の渋滞が起きた。避難道路は立体交差を含む整備を願いたい。避難タワーは防寒と食糧備蓄を考えて欲しい
- A.避難道路については県道との立体交差を検討する。避難タワーの防寒対策は、スクリーンロールの使用

当日の様子

安全、安心に関わる最優先課題とのことで、「商業施設のような立体駐車場の避難施設を考えてみてはどうか」「西側へ避難する際に県道の信号で引っかけられないようにして欲しい」といった声など、活発な意見が出されました。また、まちづくりを進めるにあたり、要請や確認の窓口設置を望む声も上がりました。

わたしの近況報告

このコーナーでは、中野・岡田地区出身で現在は借り上げ民間賃貸住宅などにお住まいの方々にリレー形式でご登場いただきます。



◀由夫さんより12歳年下の美江子さんが語る言葉の端々から、夫を尊敬し感謝する想いが伝わってきました

第10回 ささや 笹谷由夫さんご夫妻(中野・蒲生)

喪失感にさいなまれる日々

蒲生出身の笹谷由夫さんと美江子さん夫妻。震災当時、津波で全て流された自宅跡を目の前にして出た言葉は、それまでの人生全てが失われたようで「あーあ」の一言だけでした。由夫さんの兄姉を亡くただけでなく、年子で同じ誕生日の息子たち、長男の舟一さん

中野小学校区復興対策委員会

中野地区4町内会(港・蒲生・西原・和田)が一丸となり、復興に向けた活動を行っています。

1月12日(土)第35回中野小学校区復興対策委員会(臨時)

報告事項

〈4町内会から〉

- 合同慰霊祭について
 - ・日時:3月17日(日)10:00~
 - ・場所:中野小学校駐車場敷地

〈宮城野区役所から〉

- 中野児童館とコミュニティ・センターの解体について
 - ・1月下旬から解体工事に着手(3月上旬に工事終了予定)

〈復興事業局から〉

- 土地区画整理事業の決定(蒲生北部地区)に関する公聴会について
 - ・1月12日(土)公述申出書提出者22名の意見陳述の場として「公聴会」を実施
 - ・1月17日(木)公聴会の意見陳述内容に対して仙台市から見解を示す
 - ・1月18日(金)から2週間にわたり「都市計画案の縦覧」

- ・2月8日(金)「都市計画審議会」で審議
- ・3月上旬「都市計画決定」告示(予定)
- 「仙台港背後地住宅地区」宅地申込みについて
 - ・受付期間:1月20日(日)~2月5日(火)
 - ・区画数:25区画(60坪:12区画、70坪:13区画)
 - ・同区画に複数申し込みあった場合は2月24日(日)に公開抽選を実施

当日の様子

教育局より3名が参加し、「中野小学校の今後」について委員らと話し合いました。教育局と復興事業局に対して、「震災と学校の記憶」を意識したメモリアル施設の具体的な立案について委員会側から改めて要望がありました。

問い合わせ先:委員長 高橋實 022-258-3068
定例会議:毎月第1、第3日曜日16:00~
鶴巻1丁目東公園仮設住宅集会所

被災地レポート

取材地

しらとり幼稚園 (白鳥地区)

避難訓練が園児を守った 海に一番近い幼稚園

宮城野区内の幼稚園で、一番海に近い場所に位置する「しらとり幼稚園」は、三十年近くにならわたり近隣地域の子どもを受け入れてきており、卒園生は千六百人を超えます。取材に伺った日も、園庭では園児と教員が一緒になってボール遊びをし、近くを通りかかった人に朗らかな声と笑顔であいさつしていました。宮城県沖地震が九十九%以上の確



子どもたちの元気な声が飛び交う、しらとり幼稚園の園庭



さまざまな遊びに挑戦する園児たち

率で発生すると予測されていた中、五年程前から、二カ月に一回の頻度で避難訓練を行ってきました。地震が発生した当時は、ほとんどの園児は帰路についていて、園内には預かり保育中だった十数人の園児が残っていました。約三分の長い揺れが収まった後、園児たちは先生の指示通り、混乱なく近くの高砂中学校へ避難しました。主任教諭の川村恵美子さんは「大きな混乱は起きず、日頃の訓練通りに避難することが出来ました」と当時のことを振り返ります。幸い、園の建物自体への津波被害

は、近隣地区ががれきの山と化したのに比べると軽微でした。しかし、園とその周囲は海寄りにあった飲料メーカーの工場から流出した缶が大量に残り、震災直後、数百個もの缶が園庭を覆いました。自衛隊やボランティアは壊滅的な被害を受けた地域で優先的に活動していたため、力を借りることはできず、教職員のみで敷地内を片付けました。「園はまだ被害が軽い方だったから、自分たちでやれることをやろうと思ったんです」と伊藤新一理事長は語りま



主任教諭の川村恵美子さん

二週間でおおむね敷地内は元通り

になり、三月末には卒園式と修了式を行うことができました。「子どもたちに一日でも早くもとの幼稚園生活を送らせてあげることだけを願っていました」と伊藤理事長。一刻も早く幼稚園を復活させたいとの気持ちで教職員を一つにしました。

地域復興の拠点として 一層地域に必要な存在に

幼稚園が震災前の状態に戻ろうとする中で、震災前にはなかった、ある変化がありました。周辺の住民が入る予定の仮設住宅が完成するまで、園の遊戯室の一部を中野小学校復興対策委員会の会合場所として提供し、また震災後初めてとなる蒲生町内会「住民の集い」も、昨年五月に約七十人が参加して開かれました。また昨年十二月の総選挙でも、立ち入りができない中野小学校の替わりとして園は投票所として使用されました。震災直後はもちろん今でも、しらとり幼稚園は地域復興の拠点としての役割をも担っているのです。

地域の発展と共に歩んできた幼稚園。地域貢献の役割も担いながら、今日も未来を担う子どもたちを包み込むように育てています。

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

多重債務でお悩みの方はいませんか？

東北財務局では、専門相談員を配置し、自らの収入で返済できないほどの借金を抱え、お悩みの方からの相談に応じています。相談者の抱える借金の状況を丁寧にお聞きするとともに、必要に応じて弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行います。相談無料、秘密厳守。

対象 多重債務でお悩みの方(自営業者も含む)

時 月～金曜日(祝日、年末年始除く)9:00～17:45

問 東北財務局 金融監督第三課

青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎4階

022-266-5703(直通)、022-263-1111(内線3080)

アートで子どもたちの心をケアします

東日本大震災で被災された方のためのアートプログラムを行うNPO団体「ARTS for HOPE」では、被災地の子どもたちを対象に、アートやものづくりを通じた心のケアに取り組んでいます。2月のプログラムでは、「コラージュしましょ」をテーマに行います。

対象 岡田児童館周辺にお住まいの児童(定員20～30名・要申込)

時 2月20日(水)15:00～16:30頃

場所 岡田児童館

内容 「コラージュしましょ」

問 022-254-2568 岡田児童館

被災家族支援イベント「子育て雨宿り」

震災で被災して気持ちに余裕が持てない、慣れない土地での子育ては大変…そんな悩みを相談できずに抱えているママたちの気分をリフレッシュするイベントです。

対象 被災家庭の親子(ママだけの参加も可)

要申込(定員20組)

時 2月15日(金)10:00～11:30

場所 宮城野区中央市民センター

内容 ①育児セラピストによるマッサージやストレッチ②おもちゃコンサルタントマスターによる手づくりおもちゃの講習と遊びの講話③カフェタイム

参加費 300円(おやつ、飲み物代)

問 022-291-1916 NPO法人おひさまキッズ

健康応援団

健康についての講座や相談を行っています。地域の自主グループなどの運動の日もあります。(日程変更あり。詳しくは問い合わせを)

対象 どなたでも参加できます

時・所 各仮設住宅集会所

▼高砂1丁目公園 2月22日(金)10:00～

3月6日(水)10:00～

▼鶴巻1丁目東公園 3月5日(火)13:00～

▼福田町南1丁目公園 2月18日(月)10:00～

3月4日(月)10:00～

▼岡田西町公園 2月12日(火)13:30～

2月28日(木)10:00～

▼港南西公園 3月1日(金)10:00～

▼仙台港背後地6号公園 2月20日(水)10:00～

▼扇町1丁目公園 2月15日(水)13:30～

▼扇町4丁目公園 2月13日(水)10:00～

問 022-291-2111(内線6782、6784)宮城野区家庭健康課健康増進係

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
体を動かそう(すずめ踊り)	泉区のみなし仮設にお住まいの方	2月9日(土)	10:00～12:00	泉区中央市民センター	11月の泉中央サロンで大好評だったすずめ踊りの第2弾です	不要	支えあいセンター いずみ 022-772-5755
お茶っこ交流会	仙台市中央市民センター周辺のみなし仮設にお住まいの方	2月16日(土)	10:00～12:00	仙台市中央市民センター(仙台駅東口)	おいしいコーヒーの入れ方(講師/仙台スイーツ&カフェ専門学校)	要(電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
ほのぼの富沢サロン	富沢周辺のみなし仮設にお住まいの方	2月21日(木)	10:00～12:00	富沢市民センター	介護予防のお話と体操	要(電話)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234
和み・かたらいん茶話会	県北沿岸部・岩手県から避難された方	2月21日(木)	10:00～12:00	若林区中央市民センター別棟	かるた(予定)および茶話会	要(返信はがき)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559
ファッションショー	仙台市内にお住まいの方ならどなたでも	2月21日(木)	10:00～12:00	仙台市福祉プラザ	「着物リメイク手縫教室はないとき」さんによる手づくり作品のファッションショー	要(電話またはFAX)	支えあいセンター あおば 022-217-7234 FAX 022-721-1266

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

からだ編 唾液とストレスとお口の乾燥のはなし

多くの人前で話をするときなどお口が乾いて大変だったという経験がありませんか？ これは緊張で交感神経が刺激され、唾液の分泌が少なくなったからです。ストレスが多くなっても同じようなことが起こります。唾液は普段気にすることはありませんが、口の中でとても大事な役割を果たしています。でんぷんを分解することはもちろん、口の中を滑らかにして乾燥を防いだり、食物を飲み込みやすくしたり、味覚の働きを敏感にします。また口の中に入ってくる細菌の働きを抑え、発がん性物質を減弱する働きまであります。口腔粘膜の傷の修復やむし歯予防にも深く関係しています。

このように唾液は血液と同じくらい大切なのです。普段のストレスで知らないうちにお口が乾燥していることがあります。よく噛むことは血流が促進して唾液腺が刺激されます。お顔のマッサージも唾液促進に効果があるでしょう。しかしシエーグレン症候群という唾液の少なくなる病気もありますのであまり気にならないときは病院で診てもらってください。お口と歯から始まる健康生活はじめてみませんか。

旭ヶ丘ジュン歯科 歯学博士 柏崎 潤

柏崎 潤 (かしわざき じゅん)

日本睡眠学会認定歯科医、クリニック内で『ジュン先生の歯学教室』を開催するなど、歯と健康に関するトータルアドバイザーでもある。ホームページ <http://www.junshika.jp/>

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ

A	B	C	D
---	---	---	---

1	2	3	4	5	
6		7	8		
		9			10
11	12		13	14	
			15		
16		17		18	19
		20			

タテのカギ

- ① 鳴子温泉駅、中山平温泉駅などを通る陸羽東線の愛称は、「奥の細道○○○○ライン」
- ② 日常生活を意味する、「起臥」の読みは？
- ④ ○○○○○三名湯といえば、秋保温泉、鳴子温泉と福島県の飯坂温泉
- ⑤ 遠刈田温泉にある共同浴場は、「○○の湯」と「寿の湯」
- ⑦ 749年に、日本で初めて金が産出された、○○○町
- ⑩ 「街を歩けば○○も鳴子」は、鳴子温泉で使われた謳い文句
- ⑫ 宮城県と山形県にまたがり、温泉やスキー場、御釜、山寺など、名所が豊富な○○○国定公園
- ⑭ 材木の表面を滑らかにする大工道具
- ⑮ 暖房器具、「行火」の読みは？
- ⑯ かつて政宗公は、仙台藩の○○を積み出して、人口の増えた江戸の人々のお腹と、藩の財政を満たしました
- ⑰ 記号℃で表わされる、○○温度
- ⑱ 780年、現在の宮城県などで起こった、宝亀(ほうき)の○○

ヨコのカギ

- ① たくさんミニかまくらにろうそくが灯される、青根温泉○○あかりが、2月10日に開催されます
- ③ 俗に、嘘ばかりついている人は、○○○○少年
- ⑥ ふさふさ、コート、ミンク
- ⑧ 沿岸の気仙沼温泉や南三陸温泉では、○○を望む見晴らしも魅力
- ⑨ ことわざ。○○○危うきに近寄らず
- ⑪ 売買による差額の利益
- ⑬ 温泉地で湯上がり、「浴衣」の読みは？
- ⑮ 何かを2人以上でする時に合わせる、○○○の呼吸
- ⑰ 2月16日に仙台市歴史民俗資料館で、麦こがしづくりの実演が開かれます。麦こがしの別名といえば？
- ⑱ 作並温泉は、広瀬川の源流付近に○○時代から伝わりと言われる名湯です
- ⑳ 船形山や鈴沼がある、「河童のふるさと」をキャッチフレーズとする、○○○町

前回のこたえ

A ジ B ユ C ヒ D ヨ E ウ
でした。

1	ゴ	ム	ケ	イ	ナ
2	シ	ヤ	ジ	ナ	ガイ
3	キ	キ	ヨ	リ	タ
4	10	ズ	ミ	11	ロ
5	12	モ	13	カ	ホ
6	14	ユ	キ	15	カ
7	16	レ	17	マ	イ
8	18	19	20		

編集後記

取材を重ねるごとに気づいたことがあります。被災経験をあえて身内でなく、信頼できる第三者に話をする事で心のうちを吐き出せたり、整理できたりするのかもしれない。(芳賀)

愛車の車検整備を中野牛小舎の齋藤さんにお願しました。実直な人柄どおり、丁寧な点検をして頂きました。被災地の事業所で頑張っている方は応援したくなりますね。(おおが)

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL：022-390-5755
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mwww.or.jp